

提言第15号 薬剤の誤投与に係る死亡事例の分析

事例1

< 事例概要 >

処方時に間違いがあり禁忌薬投与に至った

スルバシリン静注用1.5 g（アンピシリンナトリウム・スルバクタムナトリウム）：抗菌薬

- ・ 70 歳代、肺がん
- ・ 外来受診時、患者からペニシリンでアナフィラキシーと申告があり、診療情報提供書に記載があることを確認した。入院後、肺の炎症を認めスルバシリン 1.5 g × 2 + 生理食塩水 100 mL を処方した。アレルギー薬は登録されていたがシステムによる警告はなく、全ての工程でアレルギー情報が確認されず、点滴を投与した。
- ・ 投与開始 2 分後、呼吸困難感が出現。直ちに中止したがショック症状が出現し、投与 2 日後に死亡。
- ・ 死因は、アナフィラキシーショック。死亡時画像診断（Ai）無、解剖有。